

サーベイ実験の理論と実践

日時：2021年9月2日（木） 10:30～17:00

場所：オンライン開催（詳細は別途ご案内）

料金：一般 5,000 円，学生 2,500 円

講師：秦正樹（京都府立大学）

定員：35名

■本コースの内容

本コースでは、近年、様々な社会科学分野で広く用いられている「サーベイ実験（survey experiment）」と呼ばれる分析手法の概要・実践方法についてお話します。とくに日本では、（主に政治学分野において）ここ数年で急速にサーベイ実験の利用が普及しています。サーベイ実験は、これまでの調査観察データの分析方法とは異なる因果関係の考え方（潜在的アウトカムにもとづく因果推論）にもとづいて検討がなされます。そこでまずは、そもそもサーベイ実験は、これまでの分析手法と比べてどのような利点があるのかについて、理論的な観点からお話します。また「サーベイ実験」は総称であり、その中にはフレーム実験・リスト実験・コンジョイント実験など、目的に応じて様々な実験手法があります。これら諸実験の特徴についてもお話します。また、実際にサーベイ実験を実施するために必要となる技術・インフラについてもお話します。最後に、時間が許す限り、Stata を用いて、秦が過去に実施した実験データを使って実際に分析も体験してもらいたいと考えています。

■次のような方におすすめです

- ・サーベイ実験を用いることの利点について知りたい
- ・実際に、自分自身でサーベイ実験を実施したい
- ・サーベイ実験データを使って実際に Stata や R など分析してみたい

■注意事項

- ・大学または公的研究機関所属の研究者・学生（学部生も可）、SSJ データアーカイブへデータを寄託されている民間研究機関の方のみを対象とします。
- ・本コースは Stata の操作の基礎については触れません。また、この講義では、より多くの受講生が利用可能と思われる Stata を用いますが、紹介する分析手法は R でも同様に可能です。講義中、R 版の package もその都度紹介しますので、普段、R を利用されている方も問題なく受講していただけます。
- ・Stata がインストールされていないパソコンをご利用の方は、募集フォームの「Stata インストール希望」にチェックを入れてください。後日、事務局から期限付きライセンスをご案内いたします。インストール済みの場合は講義開始時間の 10:30 までに指定の URL にアクセスしていただければ結構です。

■本コースの日程

「因果推論とサーベイ実験の手法」「サーベイ実験を実践するために」「Stata を用いたサーベイ実験データの分析」

*進度によって内容が若干変わることがあります

■参考論文

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ojjams/35/1/35_92/_article/-char/ja/

https://www.jstage.jst.go.jp/article/ojjams/35/1/35_109/_article/-char/ja/

